



古都だより

事業のトピックス

1. 観光庁 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業 モデル観光地に選出されました！

観光庁では、今後の本格的なインバウンド回復を見据えて、消費額の大きな高付加価値旅行者の地方誘客を進めており、当財団はその中心事業の一つである「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」におけるモデル観光地に選出されました。モデル観光地は全国11地域が選ばれ、今後5カ年程度を目安に伴走支援を受けることとなりました。

本エリアは「奈良南部・和歌山那智勝浦エリア」として選ばれており、昨年度より進めている、奈良・三重・和歌山との県域を越えた「紀伊半島」のブランド化に向けた取り組みをより一層推進できる事業となります。欧米豪の対象市場からの高付加価値旅行者をより多く誘客できるよう努めて参ります。

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり
モデル観光地 11地域



奈良南部・和歌山那智勝浦エリア



【各モデル観光地エリア】

≪観光庁HPより引用 https://www.mlit.go.jp/kankochu/news03_000235.html≫

2. インバウンド旅行商品販売事業

◆「KANSAI NARA Treasure Travel」～ 修験道体験ツアー～

インバウンド向けwebサイト「KANSAI NARA Treasure Travel」では、2020年度「夜間・早朝の活用による新たな時間市場の創出事業（大峯山洞川温泉観光協会、天川村との協同実施）」にて作成した修験道体験ツアーを販売しています。

6月にイタリアから2名のゲストをお迎えし「先達」の先導のもと、稲村ヶ岳登山ツアーを実施しました。ゲストからは『念願だった体験に安心して参加することができ、今回の日本旅行のハイライトとなる経験だった。』と大変喜んでいただきました。

今後も本サイト上のBlogやSNSを通して定期的な情報発信を行うと共に、奈良ならではの商品造成及びお客様の体験価値および県内での観光消費額の向上を目指してまいります。



【修験道体験ツアーの様子】

KANSAI NARA Treasure Travel
<https://nara-sightseeing.com/>



◆ジャパン・オペラ・フェスティバル2023

法隆寺公演 野外オペラ「トロヴァトーレ≪吟遊詩人≫」

当財団は、5月に実施された野外オペラ「トロヴァトーレ≪吟遊詩人≫」にて、訪日外国人誘客業務を担当いたしました。本事業は、公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団がイベント主催団体として、観光庁「観光再始動事業」を活用して実施されたもので、当財団ではコンテンツとしてオペラ公演場所である法隆寺をより深く知り楽しんでいただける高付加価値なコンテンツを3つを用意し、オペラ公演中の5/18～5/21の4日間で行いました。総勢57名の訪日外国人に参加いただきました。

≪訪日外国人向け高付加価値化ツアー内容≫

- ・出演者による公演前の演目解説とバックヤードツアー
- ・公演終了後に出演者と交流直接交流できるレセプションパーティー
- ・文化財修復技師解説付きでの法隆寺東院「礼堂」（現在修復中）特別見学ツアー



【修復された屋根瓦の説明を受ける参加者】

3. 地域連携DMO推進事業

◆ あをによし なら旅ネット<奈良県観光公式サイト>

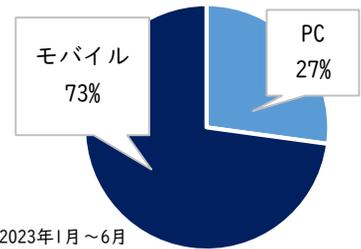
当財団が運営する奈良県観光公式サイト「あをによしなら旅ネット」のデバイス別の訪問者数シェア（図1）をみると、スマホなどモバイル端末からのアクセスが全体の70%を超えています。これは、観光情報の検索に多くの方がPCではなくスマホを利用していることと合わせて、「なら旅ネット」が、旅ナカでの観光情報検索にも使われている傾向が高いと考えています。またアクセスの多いページランキング（図2）を見ると、3月～6月においては、「桜」「つつじ」「藤」「あじさい」「曾爾高原」等の花や自然情報、「修二会」等人気イベントにPVが集まりました。新型コロナウイルス感染拡大後、アウトドアへの関心が高まっていますが「なら旅ネット」のアクセス状況からもわかるようにこの傾向は続いているようです。今後も旅マエ、旅ナカでお客様にタイムリーな情報を発信し奈良県への誘客増加、消費額アップに努めてまいります。

なら旅ネット

<https://yamatoji.nara-kankou.or.jp>



（図1） なら旅ネット
デバイス別訪問者数シェア



（図2） カテゴリー別アクセスランキング

2023年3月～6月

■ 「観光施設」情報

順位	施設	PV
3月	1 又兵衛桜（宇陀市）	24,496
2 月ヶ瀬梅溪（奈良市）	8,440	
3 曾爾高原（曾爾村）	7,263	
4 賀名生梅林（五條市）	7,249	
5 奈良県営 馬見丘陵公園（河合町）	6,668	
4月	1 又兵衛桜（宇陀市）	12,165
2 奈良県営 馬見丘陵公園（河合町）	12,031	
3 曾爾高原（曾爾村）	8,553	
4 石舞台古墳（明日香村）	6,767	
5 長谷寺（桜井市）	5,476	
5月	1 曾爾高原（曾爾村）	11,127
2 石舞台古墳（明日香村）	8,342	
3 蘆山寺（奈良市）	8,170	
4 中宮寺（斑鳩町）	6,661	
5 みたらい渓谷（天川村）	6,499	
6月	1 曾爾高原（曾爾村）	9,986
2 長谷寺（桜井市）	6,401	
3 般若寺（奈良市）	6,344	
4 石舞台古墳（明日香村）	6,321	
5 矢田寺（大和郡山市）	5,570	

■ 「イベント」情報

順位	施設	PV
3月	1 修二会(お水取り)（東大寺）	28,710
2 月ヶ瀬梅溪 梅まつり	17,943	
3 高田千本桜ライトアップ（大中公園）	6,966	
4 あすかいちご狩り（あすかいちご狩りパーク）	6,493	
5 町家の雛めぐり（高取土佐）	4,544	
4月	1 ぼたんまつり（長谷寺）	7,769
2 馬見チューリップフェア（馬見丘陵公園）	4,515	
3 桜ライトアップ（吉野山）	3,382	
4 夢殿本尊・観音菩薩立像特別開扉（法隆寺）	3,287	
5 第12回めぐり時代祭り（平群町）	2,877	
5月	1 ぼたんまつり（長谷寺）	2,923
2 鑑真和上像特別公開（唐招提寺）	2,796	
3 夢殿本尊・観音菩薩立像特別開扉（法隆寺）	2,411	
4 いまなら。キャンペーン2023	2,352	
5 阿弥陀如来立像 特別公開（礎城寺）	2,311	
6月	1 大和三大観音あぢさゐ回廊（長谷寺）	11,178
2 大和三大観音 あぢさゐ回廊（岡寺）	7,694	
3 鑑真和上像特別公開（唐招提寺）	2,489	
4 大和三大観音あぢさゐ回廊（壺阪寺）	2,257	
5 修二会(お水取り)（東大寺）	2,168	

■ 「花」情報

順位	施設	PV
3月	1 梅（月ヶ瀬梅溪）	5,053
2 桜（壺阪寺）	4,745	
3 桜（奈良公園）	3,955	
4 梅（賀名生梅林）	2,389	
5 梅（広橋梅林）	2,172	
4月	1 つつじ（葛城高原）	20,258
2 藤（春日大社）	13,528	
3 藤（春日大社 萬葉植物園）	6,585	
4 牡丹（長谷寺）	6,044	
5 チューリップ（奈良県営 馬見丘陵公園）	4,414	
5月	1 つつじ（葛城高原）	16,356
2 バラ（春）（雲山寺）	5,186	
3 アジサイ（般若寺）	3,511	
4 天竺牡丹（ダリア）（岡寺）	3,215	
5 藤（春日大社）	3,034	
6月	1 アジサイ（般若寺）	13,300
2 アジサイ（矢田寺）	3,971	
3 アジサイ（長弓寺）	3,146	
4 アジサイ（壺阪寺）	2,520	
5 蓮（藤原宮跡）	2,228	

◆ かしはらナビプラザ「STREET FIGHTER展 IN かしはらナビプラザ」を開催！

当財団は、橿原市より「かしはらナビプラザ」の指定管理を受託しており、橿原市及び中南和の観光情報を広く発信するとともに、単なる観光案内所ではなく地域住民の方と観光客の交流拠点となる場所づくりを目指し運営を行っております。

2023年5月27日、世界的人気対戦型格闘ゲーム「ストリートファイター」の人気キャラクター「リュウ」の銅像が「かしはらナビプラザ」前へ設置され、除幕式でお披露目されました。これは、橿原市と株式会社カプコンが包括連携協定を締結し進めている同シリーズキャラクターを活用した観光振興の取組の一環として設置されたものです。

「リュウ」の銅像設置を記念し、2階イベントスペースでは5月27日(土)から6月18日(日)まで企画展「STREET FIGHTER展 IN かしはらナビプラザ ～ストリートファイターと橿原市～」が開催されました。会場では、キャラクターグッズやパネル展示をはじめ、貴重なロマンピア藤原京'95の資料、同イベントで公開された懐かしのオリジナルアニメの上映を行い、期間中は橿原市民やファン等合計1,769人の来場者で賑わいました。今後も橿原市及び中南和地域の活性化に繋げる各種イベントを開催しナビプラザを拠点とした「賑わい創出」に努めてまいります。



【STREET FIGHTER展】



【「リュウ」の銅像】

4. 魅力ある観光地域づくり促進事業

◆「うまし奈良めぐり」

年間2回に分けて『うまし夏めぐり』『うまし冬めぐり』として実施してまいりました『うまし奈良めぐり』が、2023年度から、年間を通してのキャンペーンとなりました。

社寺のご担当者様とご相談させていただきながらプランを決定し、それぞれ独自の特別な体験等をお客様にお楽しみいただいております。

例えば早朝のご案内や体験、朝粥とのセットなど、お客様が奈良県に宿泊されてこそご参加いただけるプランもあり、「奈良を遊ぶ・知る・巡る体験プラン」として奈良の魅力をさまざまな角度から発信しています。

今後も、奈良初心者から奈良ファンの多くの皆様により深くお楽しみいただけるよう努力してまいります。

うまし奈良めぐり

<https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/nara-umashi/>



5. MICE誘致・開催支援事業

◆コンベンション開催誘致支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年は現地開催ではなく、オンラインでの開催やオンラインと現地両方で行われるハイブリッド開催が主流となっていましたが、5類感染症への移行により、懇親会を含めた国内・国際会議の現地開催が増えてまいりました。

特に2023年度は現地参加1,000名を越える規模の会議も多く予定されており、コロナ禍で減少していた支援依頼や利き酒などの懇親会でのアトラクション手配も増えています。

<前年度(2022年度)誘致支援実績>

- ・上半期(4月~9月) : 15件(国内 6件、国際 4件、スポーツ 5件)
 - ・下半期(10月~3月) : 44件(国内 26件、国際 9件、スポーツ 9件)
- ※内、4件が完全オンライン形式で開催

奈良県MICEご支援情報

<http://mice.nara-kankou.or.jp/>



◆第32回国際MICEエキスポ(IME2023)参加

今年2月に東京国際フォーラムで開催されたMICEの商談会「第32回国際MICEエキスポ IME2023」に奈良県観光局MICE推進室と共に出展しました。

本イベントは、(一社)日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)と日本政府観光局(JNTO)が主催する国内最大級のMICEを誘致するためのイベントで、今回は2020年度以来3年ぶりとなるリアル開催で実施され、MICEサプライヤー約80団体、MICEバイヤー約300名が参加しました。

久しぶりのリアル開催ということもあり、各商談ブースは多くの人で賑わい、当団体も12件(海外旅行会社3件、学会事務局等9件)と商談を行うことができました。商談では、奈良県でMICE開催される場合の基本情報の提供やすでに開催決定している国際学会主催者様への具体的な支援内容の提供や奈良県の消費額アップにつながるエクスカージョンの提案までを行い、今後の奈良県でのMICE開催件数の増加を見込める内容となりました。

2023年度の国際/国内会議は、コロナ禍では実施が難しかった懇親会、エクスカージョン等を含めた完全リアル開催での実施や、参加者1,000人以上の大規模での開催を検討されている会議が多い傾向にありました。

今後もキーパーソンへの営業活動や施設視察の調整等、積極的に活動してまいります。



【商談会会場の様子】

6. お知らせ

◆奈良ファン倶楽部

奈良ファン倶楽部2023年度会員を募集しております。
奈良の旅がもっと楽しくなる、会員様だけの素敵な特典、企画をご用意しています。
また、会報誌のサイズが一回り大きく（B5サイズ）なり、読みやすく使いやすくなりました。
皆様のご入会をお待ちしております。

奈良ファン倶楽部
<http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/fanclub/>



■今後開催の限定企画のご案内

正倉院展を深く味わう2023 ※一般参加可能

講師：西山 厚 氏（帝塚山大学客員教授）

【開催日時】 2023年10月30日(月)
【開催時間】 10:00～12:00 ※集合 9:50
【開催場所】 奈良公園バスターミナルレクチャーホール
(奈良市)
【参加費】 会員：2,000円 一般：4,000円
【申し込み】 https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/04public/03hall/01north_area/nvb001/event/coztdx6qv2/

三輪山祭祀をつかさどった『三輪氏』

講師：橋本 輝彦 氏（桜井市教育委員会 文化財課課長）

【開催日時】 2023年11月12日(日)
【開催時間】 13:30～16:00 ※集合 13:20
【開催場所】 三輪山山麓地区（行程：約3キロ）
【参加費】 会員：2,000円
【申し込み】 2023年8月10日～（奈良ファン倶楽部サイトより）

7. コラム

◆奈良県ビジターズビューローが目指すもの <第9回>

2021年に入社して以来、主に奈良県観光公式サイト「あをによしなら旅ネット」の運営を担当しています。

前職では服飾系のECサイト運営に携わっており、異業種への転職ではありましたが、これまで培ってきたECやITの知識を活かし日々業務に向き合っています。

私自身は奈良出身ではなく、奈良での暮らしもやっと3年目という奈良初心者。奈良について知らないことも多く、奈良の観光公式サイトを担当して良いものかと思うこともありますが、ならば逆にそんな奈良初心者だからこそ持てる視点を大切にして「奈良初心者にわかりやすく奈良を伝えるにはどうしたらいいか」と考えながらサイト運営を行っています。

「あをによしなら旅ネット」は年間1,000万PVを誇るサイトです。これだけのPVがあるということは膨大なデータも集まるということで、これは大変貴重なものです。サイト全体の分析はもちろん、地域やイベントごとのデータを分析すれば、EC運営やSNSなどでの情報発信において効果的なマーケティングデータとして活用することが可能ですし、各地域へのサポートにも有効です。

あをによしなら旅ネット<奈良県観光公式サイト>



<https://yamatoji.nara-kankou.or.jp>

新型コロナウイルス感染症拡大は社会に様々な影響を及ぼし、特に観光は大きな転換点を迎えることとなりました。そうした中で、デジタルをどのように活用していくかがいっそう問われていると思います。

こうしたことを踏まえた上で、より奈良の魅力を伝えられるサイトを目指していきたいです。

【地域づくり課 安藤】

新規賛助会員募集中！

当財団では、事業をサポートしていただける賛助会員を募集しております。
※会員の皆様には、ホームページでのご紹介、会報誌の送付など観光・コンベンションに関する情報を提供しております。

問い合わせ先：☎0742(23)8288



8. データからみる奈良観光レポート

(1) 観光インフォメーションセンター（東大寺内）でのインバウンド受入状況

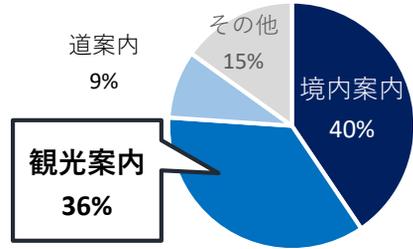
当財団で管理運営している外国人観光客向けの案内所「奈良県観光インフォメーションセンター（東大寺内）」の今年4月～6月の外国人旅行者受入状況をみると、前年比+1240%で、コロナ前の状況にはまだまだ及びませんが、急速に回復してきました。国別ではアジア圏の方が最も多く53%、次に欧米のお客様が45%で日本全体への国別来訪状況と比べると欧州の方のシェアが高いことがわかります。

当センターでの問い合わせ内容で最も多いのは、東大寺境内案内（シェア40%）ですが、観光に関する問い合わせ（シェア36%）多く、今後も当センター内で奈良県内のスポットのご提案を積極的に行うことで、奈良県内の周遊率、消費額アップにつなげてまいります。

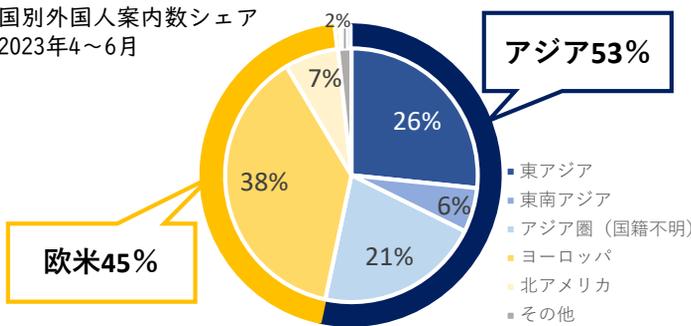
■外国人案内数

2023年4～6月	5,439人
前年比（2021年4～6月比）	+1240%
コロナ前比（2019年4～6月比）	-78%

■問い合わせ内容別シェア



■国別外国人案内数シェア 2023年4～6月



<特に多いお問合せ内容>

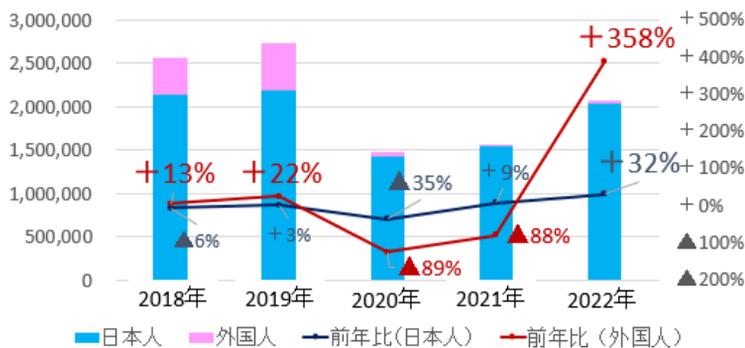
- ◇観光情報（境内の観光場所 他）
- ◇パンフレット等（多言語マップ希望 他）
- ◇多言語の表示（案内板、解説内容 他）
- ◇A T M情報（どこにありますか 他）
- ◇交通機関等情報（県内外への行き方 他）

（当財団調べ）

(2) 奈良県宿泊者数状況（観光庁宿泊旅行統計調査2022年確定値・2023年4月第2次速報値）

コロナ禍で国内、海外ともに大きく減少していた奈良県宿泊者数は、2022年大きくプラスに転じ、日本人は前年比+32%、外国人は+358%となりました。宿泊施設の客室稼働率は34.5%、前年比+7.6%（ポイント）とプラスに転じるものの、人手不足もあり課題が多く残ります。また国別では米国、中国が最も多く、韓国、フランス、香港、台湾が続きました。今年の4月の速報値では、米国が19%、フランス10%、豪国6%の比率が上がっており、欧米比率の高さは奈良県の特徴の一つと言えます。

■奈良県延べ宿泊数推移 （人泊）



■奈良県外国人宿泊者数国別シェア

国籍	2022年合計	2023年4月
米国	13%	19%
中国	12%	7%
韓国	9%	5%
フランス	7%	10%
香港	6%	6%
台湾	6%	8%
シンガポール	4%	3%
オーストラリア	3%	6%
英国	3%	3%
カナダ	2%	3%
ドイツ	2%	4%
その他	2%	3%

■奈良県客室稼働率

奈良県	全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	簡易宿所
2022年稼働率	34.5%	25.4%	62.0%	34.0%	52.9%	24.6%
前年比	+7.6%	+9.3%	+17.9%	-1.9%	+16.8%	+8.4%
2019年比	-9.7%	-1.9%	-13.6%	-26.8%	-23.9%	+3.8%